【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2003-82505(P2003-82505A)
【公開日】平成15年3月19日(2003.3.19)
【出願番号】特願2001-274880(P2001-274880)
【国際特許分類第７版】
　Ａ４１Ｃ　3/10
　Ａ４１Ｃ　3/12
【ＦＩ】
　Ａ４１Ｃ　3/10　A
　Ａ４１Ｃ　3/12　Z

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月17日(2003.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
左右１対のカップと、これらのカップをつなぐ中央支持布と、上記カップの左右の縁部からそれぞれ横方向に延びる左右１対のバックパネルと、左右２本の肩紐からなるブラジャーであって、バックパネルと肩紐を結ぶ部分からバックパネル底辺部までの幅（Ｌ）が、カップ脇側のバックパネルとの接合部分の上端点からバックパネル底辺部までの幅（ｌ）よりも長くされるとともに、該バックパネルの縁部縫製に身生地と同じ布生地が用いられていることを特徴とするブラジャー。
【請求項２】
前記バックパネルの中心部から縁部にかけて前記布生地の枚数が段々多くなるように縫製されていることを特徴とする請求項１に記載のブラジャー。
【請求項３】
ブラジャーのバックパネルの底辺部が曲線となるように形成されていることを特徴とする請求項１又は２に記載のブラジャー。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
本発明は、上記課題を解決するためになされたものであって、本発明のうち請求項１に係る発明は、ブラジャーのバックパネルと肩紐を結ぶ部分からバックパネル底辺部までの幅（Ｌ）が、カップ脇側のバックパネルとの接合部分の上端点からバックパネル底辺部までの幅（ｌ）よりも長くされるとともに、該バックパネルの縁部縫製に身生地と同じ布生地が用いられていることを特徴とするブラジャーに関し、請求項２に係る発明は、前記バックパネルの中心部から縁部にかけて前記布生地の枚数が段々多くなるように縫製されていることを特徴とする請求項１に記載のブラジャーに関する。また、請求項３に係る発明は、ブラジャーのバックパネルの底辺部が曲線となるように形成されていることを特徴とす

る請求項１又は２に記載のブラジャーに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
【発明の効果】
以上詳述したように、請求項１に係る発明は、左右１対のカップと、これらのカップをつなぐ中央支持布と、上記カップの左右の縁部からそれぞれ横方向に延びる左右１対のバックパネルと、左右２本の肩紐からなるブラジャーであって、バックパネルと肩紐を結ぶ部分からバックパネル底辺部までの幅（Ｌ）が、カップ脇側のバックパネルとの接合部分の上端点からバックパネル底辺部までの幅（ｌ）よりも長くされるとともに、該バックパネルの縁部縫製に身生地と同じ布生地が用いられていることを特徴とするブラジャーに関し、請求項２に係る発明は、前記バックパネルの中心部から縁部にかけて前記布生地の枚数が段々多くなるように縫製されていることを特徴とする請求項１に記載のブラジャーに関する。また、請求項３に係る発明は、ブラジャーのバックパネルの底辺部が曲線となるように形成されていることを特徴とする請求項１又は２に記載のブラジャーに関するものであるから、以下のような効果を奏する。